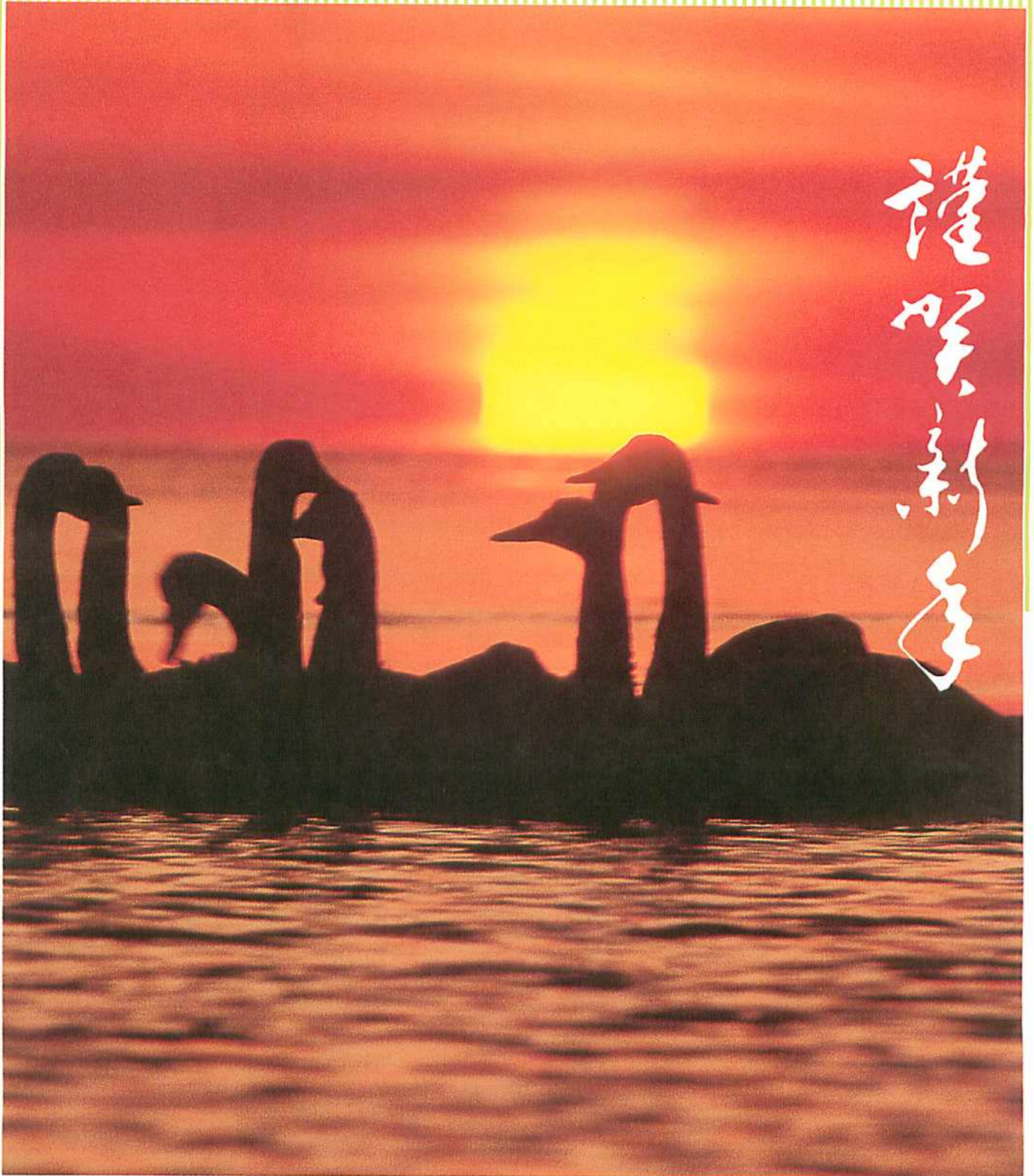


あなたとJAをむすぶ情報誌

# なかしべつ

2001  
1月  
No.313



迎春



新春を迎え皆様の  
ご多幸をお祈りし、  
本寺より何卒よろしくお願い致します  
平成二十三年 元旦

中標津町農業協同組合

代表理事組合長	高橋	勝義
副組合長理事	中司	哲雄
営農委員長理事	上村	重光
生産委員長理事	土井	信一
管理購買委員長理事	藤井	美夫
理事	川村	清身
理事	中村	敏夫
理事	長路	清夫
理事	古澤	翠
代表理事	土井	善行
監事	瀧平	昭男

# 新年にあたり

中標津町農業協同組合  
代表理事組合長

高橋 勝義



明けましておめでとうございます。輝かしい二十一世紀の新春を、皆様にはご家族おそろいでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、道内に於いては有珠山の噴火や口蹄疫の発生、また雪印食中毒問題など、農業にとって大きな災いと心配に明けくれた一年となりました。私共の地域に於いても、遅れ気味の春耕期から、秋の豊穰を期待してのスタートでしたが、順調に思えた生育も、時ならぬ台風や高湿度、曇天、日照不足が夏から秋に続いたことにより、畑作物については大事な成長期に充分な生育が出来ず、馬鈴しょ、ピート収量は前年を大きく下回る結果となりました。三年目を迎えた大根も、軟腐症による一部不良品が発生し、また他の野菜主産地が台風などの被害を受けることなく通年供給されたことで、市場価格が安値で推移したため、販売価格は前年から大きく下回る結果となりました。牧草については、平年並の生産量でしたが、サイレージ調整時や乾草調整時の天候不順により、大変ご苦労されたことと思います。

でん原馬鈴しょについては、でん粉工場再編により初めてJA斜里工場へ出荷しましたが、天候不順による減収は残念だったものの、生産者の皆様の出荷班による協力と、JA斜里町の受入れに関する配慮もあり、

大きな混乱もなく終えることが出来ました。今年は、地力向上など冷湿害にも強い対策の励行により、平年以上の作柄を望むと共に、畑作振興のための取組みと対応を実践して行くべきと、心新たにしているところです。

また酪農については、一昨年の猛暑による影響から分娩の遅れも著しく、計画乳量を若干下回る見込みとなつていますが、他JAと比べても高い伸びを示しており、生産者の皆様の日々の努力に改めて敬意を表す次第です。平成十三年度の補給金は、十二年度と同額となりましたが、本体部分は市場取引によるものときれ、今年新たな乳価として決定されます。交渉に当る系統団体には、我々生産者の日夜の努力が報われるような価格決定を強く望むと同時に、生乳は商品であり乳質及び乳成分向上に努め、国民に良質・安全・安心な食料を供給することは我々生産者の責務であることも胆に命じ、農協組織として必要な対策を実践すべきと考えます。

国の農業政策は、一昨年の「食料・農業・農村基本法」制定以来、全ての農畜産物について、価格安定支持政策から、WTO協定上「緑の政策」とされている経営安定対策へと移行しつつあります。こうした中で、昨年から中山間地域直接支払制度が実施され、当組合に於いても推進委員

会を設置し、その取組み事項を詰めているところですが、五カ年に亘る新たな事業であり、事業効果も含め、広く住民に理解されるよう取組み必要があります。

農協組織運動では、昨年十一月第二十三回JA北海道大会が開催され、「新農業基本法を踏まえた北海道農業の展開」と「共生の大地北海道の構築に向けたJA改革の実践」が決議されました。海外からの大量の輸入農畜産物と自給率の低下、また農協組織の機能低下などの現実から、経営、財務基盤の強化など実践方策が謳われております。当組合は、「あるべき」を始め、地域住民との結びつきも極めて大きく、更なる事業展開と同時に、地域貢献の方策を検討してまいります。

最後に、平成十二年度の農協事業について、昨年暮れの地区別懇談会に於いても説明致しましたが、総会で皆様に示した計画にほぼ沿った推移をしております。この事は、組合員の皆様の組織に対するご理解とご協力の賜であり、深く感謝を申し上げます。安定な時代であるからこそ明確な指針が求められます。十二年度残された期間、役職員と共に努力を致しますので特段のご支援をお願いし、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶と致します。

# 21世紀を迎え 決意新たに

北海道農業協同組合中央会  
会長 宮田 勇



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成十三年は二十一世紀のはじまりの年でもあります。本年が希望に満ちた年となりますようお祈り申し上げます。昨年の本道における農作物の作柄は、季節的な長雨と大雨などの影響があったものの、全般的に天候に恵まれ、気温は高く推移したため、稲作・畑作など総じて豊作の年となりました。

しかし、有珠山の噴火、口蹄疫の発生、雪印乳業中毒関連問題が発生し、生産者・JAへの被害などが生じたことは誠に残念であり、被害を受けた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、農業を巡る情勢として食料・農業・農村基本法が制定されて以来、この農業政策の変化に対応するため北海道農業の再構築が急務となっております。さらに、WTO次期農業交渉問題など農業を左右する大きな局面を迎えているところであります。

こうした状況の中で、昨年は第二十三回JA北海道大会を開催し、二

十一世紀の北海道農業・JAの指針として、「食料・農業・農村基本法の制定を踏まえた新たな北海道農業の展開」と「共生の大地北海道の構築に向けたJA改革の実践」を決議しました。

食糧供給基地北海道として新たな二十一世紀への北海道農業の展開を図るためにも、食糧自給率向上を目指す北海道生産努力目標の設定とその実践、さらに国民への安全・良質な農畜産物を供給するためのクリーン農業の実践などJAグループ北海道として総力を結集して取り組んでまいります。

また、農家戸数の減少、農業就業者の減少と高齢化が進行している中で地域の農業資源を最大限に活用し、地域農業の維持発展を図るために地域農業振興システムを核とした多様な担い手の育成強化に努めてまいります。

一方、JA経営を取り巻く環境は、日本版ビックバンの進展により、金融改革が着実に実行されており、金融業界は大変革の時代に突入しました。こうした情勢下で金融機関とし

て生き残るため、また自律的な経営を目指すために、早期是正措置の導入、ディスクロージャーの法定化、平成十四年四月のペイオフの実施、会計基準の国際化による時価会計や連結決算が導入されるなど、自己責任に基づく経営の健全性・透明性が厳しく求められています。

このような厳しい環境の中で、JAグループ北海道としてJAが組合員や地域住民の期待と信頼性に応えるために自己資本比率向上対策の取り組みを強化して財務の健全化を図り、JA合併を進めるとともに強靱な経営基盤が確立するよう取り組んでまいります。

最後に、二十一世紀の新しい年を迎え、第二十三回JA北海道大会で決議しました、共生の大地「北海道」の構築に向けて決意を新たにしている次第であります。

本年が豊穡の出来秋を迎えることができますよう心からご祈念申し上げます。ご挨拶とします。

# 現実を直視し、 活力ある農業を

北根室地区農業改良普及センター

所 長 長野 宏



新年あけましておめでとうござい  
ます。

平成十三年の新春を、ご家族お揃  
いで迎えたことと心より喜び申し  
上げます。

昨年は、遅れ気味の春耕期で始ま  
り、気温は平年を上回って経過しま  
したが、七月、九月の長雨などの影  
響もあり、畑作の作柄も残念ながら  
平年を下回る結果となつてしまいま  
した。牧草の生産量については平年  
を上回りはしましたが、サイレージ  
調製時の天候不順でご苦労があつた  
ところです。

主要生産物である生乳生産につい  
ては十一月現在で、前年対比百三・  
二割と管内を上回る伸びを示しまし  
た。夏期間の暑さなどに対する適切  
な対応策に努力された賜と思います。  
また、酪農関係では大変大きな出  
来事がありました。九十二年振りに  
発生した口蹄疫問題、乳製品の中毒  
問題と思ひもよらない事態が起こり  
関係者のみならず、消費にも影響を  
与えることになり、衛生面が問われ

た年でもありました。

新しい時代に入り酪農においても  
市場原理の導入が始まりますが、一  
層コスト削減努力が求められます。

一方では農業者の高齢化の進行に  
より、地域生産額の低迷が心配され  
るところです。

これからは現実を直視し、問題を  
乗り越える仕組みを考えていくこと  
が急がれます。地域の優位性を生か  
しながら、さらに、消費者との密接  
な信頼関係を築き安全で良質な食料  
を安定的に供給していくことが求め  
られています。

また、今後は生産環境のクリーン  
さを一層考慮しながら、生産をして  
いかなければなりません。生産・貯  
蔵などに使用したプラスチック資材  
などの処理問題、あるいは家畜排泄  
物の管理処理問題が早急に改善策を  
講じなければならぬ問題です。個  
人でやらなければならないもの、ま  
た、地区で取り組めるもの、地区を  
越えた中で調整し、協力的体制が出来  
解決できるもの、地域、場合によつ

ては、町を越えた広域にあった農業  
システムを地域あげて取り組んでい  
く必要があります。

市場原理が導入され産地間競争が  
でてきます。いち早く環境変化に対  
応し、システム化をつくりあげた地  
域が他に差をつけることができる事  
ではないかと思ひます。

普及事業も新しい時代に即した、  
対応に努力していく決意を新たにす  
る次第です。

本年が明るい年であり、ご家族の  
皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し  
上げまして新年のご挨拶といたしま  
す。

## 女性の笑顔は 家庭の太陽

中標津町農協女性部

部長 横田 純子



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。新世紀の幕あけを皆様ご家族お揃いでお迎えるの事と存じます。新しい年を迎えるということは、気持ちも一段と引き締まるものです。昨年、全道の酪農家を根底から震感させる出来事がありました。しかし、私達にはフロンティアスピリットがあります。それをバネにして「食と農」を生産するという大事な仕事を頑張りました。

女性部もJAのご理解を頂きながら部員同志の研修・研鑽・懇親と、また、新たに一步を踏み出します。また、新たに一步を踏み出します。より感謝いたします。今年度の事業も残すところわずかですが、青年部員として誇りをもって活動していただきたく、また組合員の皆様には私達の活動を十分に理解していただき、残りの事業を実施していききたいと思っております。

最後に皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。また、自らの経営を見つめ、また自らの目標を定め力強く前進していただけたらと願いつつ、新年のご挨拶いたします。

## 新年にあたり

中標津町農協青年部

部長 清原 孝志



謹んで新春のお慶びを申し上げます。二〇〇一年、新たな世紀のスタートです。昨年は春からの不順な天候のもと季節を通して多くの組合員、青年部員の方が苦勞された一年でなかつたかと察します。また、二十一世紀に向けて、国の制度、政策の改革が打ち出され、具体的移行へと進められています。

さて昨年四月、青年部は部員数の減少など多くの問題を抱えながらも、新しい役員体制でスタートしました。その様な中、多くの部員、農協、各組織の協力を得ながら、多くの青年部事業を実施する事ができた事に心



去る十一月三十日から三日間、地区別懇談会を開催し、十月末農協事業概況などについて皆様の意見をお聞きしました。

説明した内容は、十月末の事業概況、同組織状況、中山間地域直接支払制度の取組み活動、畜舎環境衛生改善調査結果、その他です。

農協の収支見込みでは、一部部門による変動はあるものの、総会で皆様に示した計画に沿っております。

金融事業では、貯金残高が昨年と比べ十二億円の伸びとなり百十五億円の実績となりましたが、組合員の伸

所での店頭扱いの増加により、一億五千万円の増加となっておりますが、「あるる」については、釧路、北見の大型店オープンや、町内での競合、農産品の価格安により二千万円の供給減となりました。

組織の状況では、酪農部門は安定した生乳生産と、個体価格の安定により、前年を四億七千万円上回っておりますが、農産部門は天候不順や市場価格安の影響を受け、馬鈴しょ、大根で三千万円下回っており、最終的には厳しい結果となりそうです。

中山間地域直接支払い制度の取組み

# 地区別懇談会を終えて

びと共に、准組合員及び員外の伸びも大きく、地域金融機関として高い評価を受けているためと思われず。

貸付金では、生産基盤整備のためのスーパーL資金の増加が顕著です。

販売事業では、乳代（含補給金）で、一億三千万円の増、個体・農産販売で一億円の増となっておりますが、畑作物（馬鈴しょ、てん菜、大根）

については、九月の天候不順による減収や、市場価格の低迷もあって厳しい出来秋となっております。

購買事業では、堅調な生乳生産に支えられた飼料供給の増加や、給油

活動については、今年度から五年間に亘って実施される事業ですが、農業生産活動については草地更新、農道などの適切な管理他、多面的機能増進については農場周辺環境美化や農家看板他の取組みと事業費の概算について説明しましたが、営農計画作成時点で、皆様の希望を積み上げ新めて算定の予定です。

畜舎環境衛生改善調査では、今年度の乳質改善対策の一環として、十月中旬、中標津町を始めとした関係機関の協力を得て実施し、各地区別の成績を報告しました。

その他、家畜個体識別システム事業の進み方についても説明しましたが、中山間地取組み活動という新たな事業への質問や意見が多く出されました。この事業の事務局については、相談・企画・酪農課職員が担っており、皆様への一層の周知と理解

を戴き事業推進を図る予定です。地区によっては、時間不足の所もありませんが、皆様の貴重な意見を理事會にて検討し、事業に反映させていただきます。ありがとうございます。

## 中山間地域等直接支払い制度共同取組み活動

### 1. 集落協定

集落協定は中標津町農協区域を一集落とする。

### 2. 集落協定における共同取組（農業生産活動）必須事項

#### イ. 草地更新

補助事業で賄いきれない草地更新に助成をし、草地基盤確立の補完をする。

#### ロ. 農道などの適切な管理

私道整備事業

#### ハ. ヘルパー利用料金負担

利用料金の低減化及びヘルパー要員の確保

### 3. 集落協定における共同取組（多面的機能の増進）選択的必須事項

#### イ. 農場周辺環境美化

花壇及び植樹一家屋、処理室、会館などの花壇の設置及び農道の植樹  
廃屋などの処理—農場に点在する廃屋、廃車、廃農機具を処理する。

#### ロ. 農家看板の設置

未整備地区を対象として行う。

#### ハ. 廃プラ適正処理

フレコンバックを配布し、業者による回収を行いこの費用の助成を行なう。

#### ニ. 合併浄化槽による生活環境の改善

①合併浄化槽 ②構内舗装 } この内1項目選定する。  
③牧柵の設置

# わが家の 人気者

みなさま、新世紀あけましておめでとうございます。本年も、明るく元気いっぱい「わが家の人気者」を続々とご紹介していきますので、みなさまのご協力をお願いします。

二十一世紀、このコーナーの一回目を飾ってくれたのは、清原さん宅の璃夢ちゃんです。璃夢ちゃんは、三人兄弟の末っ子で、二人のお兄ち

Vサインも上手にできるようになったんだよ



西武佐地区 清原孝志・朱美さんご夫妻 長女 璃夢ちゃん(2歳2カ月)

## 絵本が大好きな 元気っ子!

やんがいるんだよ。お兄ちゃん達が、学校や保育所に行っているときは、ママの朱美さんやおばあちゃん達と遊んだり、絵本を読んだりしている璃夢ちゃん。その絵本の中で、一番のお気に入りの「日本むかしばなし」なんです。ちよっぴりなつかしくて、たのしいお話がいっぱいです。「かちかち山」、「さるかに合戦」などを指さしながら、楽しそうに見ている璃夢ちゃん。さらに、ビデオも同じむかし話シリーズです。璃夢ちゃんは、こわいお話しも、ちよっぴり平気で見ているんです。ぱっちりしたまあるい目をクリクリさせて、楽しそうに見ている、璃夢ちゃんは、とっともかわいい。「怪獣みたいな絵がでてきても、泣かないで見てるのよ」と話すママの朱美さん。いつも、お兄ちゃん達と一緒に見ているから、平気なのかな。少しずつ、お話しも上手になつきた璃夢ちゃん、大好きな家族に囲まれて健やかに大きくなってね。



ブランコもひとりでのれるよ!





みんなの作品紹介と感想をひと言

十二月七日、普及センターの主催する、「若手女性農業者ステップアップ講座」が町内にあるペンション・フォルメンで開催されました。

同講座は、今回で四回目となり、学習会、視察研修など幅広く活動しているもので、今回は参加者の中から清原朱美さんと長正路恵美さんの二人を講師役に、麦の穂を使ったリース作りに挑戦しました。清原さん達は、先日行なわれた「女性フェスティバル」に参加し、このリースの作り方のポイントなどをあらかじめ教わってきたとの事。参加者は、やわらかい麦の穂を編むのに手こずりながらも、素敵なリースを完成。ランチはリッチなコース料理を頂き、「また、来たいね」と大満足の日を過ごしていました。

## 「また、やりたいね！」ペンションでリース作り。

若手女性農業者ステップアップ講座



わかりやすいご指導の大河内先生

十二月四、二十七日の二回にわたり、女性部華道教室が行なわれ、十七人が集まりました。講師には、東池坊・大河内より子先生を迎え、入門編の盛り花とお正月のお花の生け方を教わりました。

一回目の盛り花は、三、四種類の花材を使い、思いおもいに生けて行きます。大河内先生は、「お花を生ける事で、ゆっくりと自分と向き合い、豊かな心を持つ事を感じてくれたら」と話してくれました。参加者も心から楽しみながら、生ける事に熱中していました。

二〇〇一年の女性部も明るく、心豊かで、わくわくするような活動を目指します。ご協力をお願いします。

## 華道で豊かな心を。

女性部華道教室



作り方のポイントを説明する清原朱美さん



お花を生けると心が和みます



第五回農民写真展が十二月十五日から二十日まで、中標津町総合文化会館で開催されました。

この写真展は、「大地に携わる私達からのメッセージ」をテーマに、基幹産業である農業や農村の大切さ、豊かさ・自然の美しさを写真を通してアピールする写真展です。

作品は、農村・農作業風景や四季折々の風景など約五十点が展示され、訪れた人達の感動を呼んでいました。



## 大地に携わる私達からのメッセージ。

### ● 第5回農民写真展

写真趣味の会「大地」実行委員会



粉砂糖をふりかけて完成です

## 旬の苺をたっぷりのせて。

フレッシュミズクリスマスケーキ教室

十二月十八日、フレッシュミズのクリスマスケーキ作りが、しるべつと調理実習で行なわれました。

この教室は、「和気あいあいと楽しく、お菓子づくりを通して、部員間の交流を図ろう」との要望から、外部講師を招かずに、部員さんの中にお菓子づくりの達人へさんに講師役をお願いしています。

今年には昨年に引き続き、西武佐地区・高橋百合さんをお願いし、「苺のタルト」に挑戦しました。たっぷりのバターを折り込んだ生地がサクサクとして、苺のほの甘さとびつたりマッチしていました。

参加者は、「生クリームとカスタードがサンドされて、子供達が喜びそうね」と完成の喜びを語っていました。



飾りつけのセンスが光る！

第四十九回全道JA青年部大会が去る十二月七日、八日札幌市・グリーンホテル札幌を会場に開催されました。今回、大会テーマを「北の大地がステージノ我らが主役JA青年部」とし、三本のスローガンをかけ本大会が進められました。

# 北の大地がステージノ 我らが主役JA青年部。



## 第49回 全道JA 青年部大会

農協青年部  
部長 清原 孝志

開会后、それぞれの夢や意見を乗せたフリースピーチ、そして各単組の活動をメインに発表した実績発表があり、それぞれ上手に消費者と交流している様子がうかがえました。

その後、今大会みなさんが首を長くして待ちわびた女優・高木美保さんによる記念講演がありました。デビューから仕事に追われた生活、苦悩。二十七歳当時ロケ地で触れた大自然。その時、初めて自分を見つめ直す事が出来たそうです。そして、その体験が大きく自分を変えてくれるきっかけになった事、とてもこのページだけでは語りつくせない程の講演でした。でも何か書いてと言われれば、等身大の自分で生きてゆくことが大切なこと、そして人間関係を築く時、相手を否定することから入るのではなく、相手の可能性を見つめてあげること。僕自身とても共感できる講演でした。

二日目は朝から分散会があり、「二十一世紀に向けたJA青年部活動」というテーマで、それぞれの単組の活動と問題点を提言しあい、今後の青年部活動について議論し合いました。



た。最後に忙しい中、悪天候にもかかわらず、一緒に参加してくれた両副部長に感謝し、青年部大会の報告とします。



## 和気あいあい楽しい時間を過ごしました。

### ●農協青年部反省会

農協青年部副部長 佐々木大輔

去る十二月十三日、寿宴において青年部員三十人の参加を得、反省会が行なわれました。

清原部長の挨拶の後、各部員お酒を飲みながら、交流を深めたのではないかと思います。またレクリエーション委員会による余興もあり、和気あいあい楽しい時間を過ごしました。

今年度もあとわずかですが、各部員の協力のもと無事青年部活動が終わる事を願います。



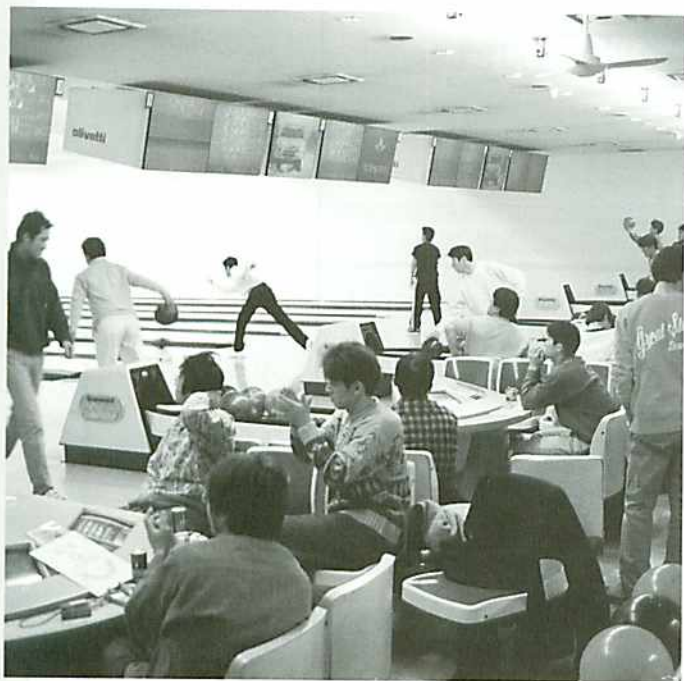
## 飲んで歌ってもり上がった支部忘年会。

青年部開陽支部 後藤田宏幸

去る十二月十五日、青年部開陽支部の忘年会が、カラオケチャンプで開催されました。

当日は、支部員や数人の職員にも参加してもらい、みなさんカラオケで得意の歌を披露するなど大変盛り上がり飲んで、歌ってビンゴゲームを楽しみ時のたつのを忘れた忘年会となり、親睦を深めた夜となりました。



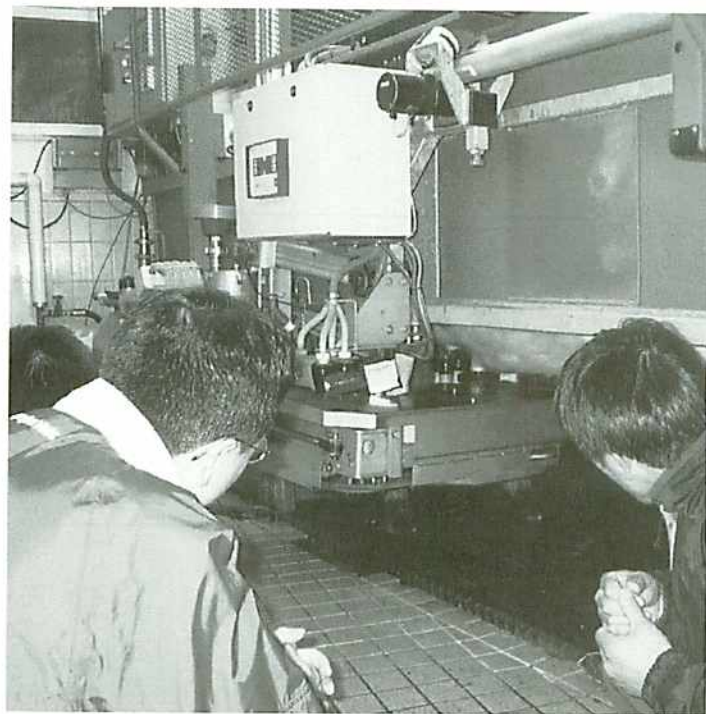


## 準優勝に 輝きました。

根室地区JA青年部スポーツ交流会

農協青年部 福嶋 寿顕

十二月十五日、根室地区J  
A青年部親睦ボウリング大会  
が行なわれました。  
三人チームの対抗戦で、当  
青年部からは二チームが参加  
しました。全十二チームで三  
ゲームを行ない、皆本調子と  
はいきませんでした。Aチ  
ームは惜しくも二位、Bチ  
ームは八位という結果でした。  
来年は是非一位をとれる様  
頑張ってもらいたいと思いま  
す。

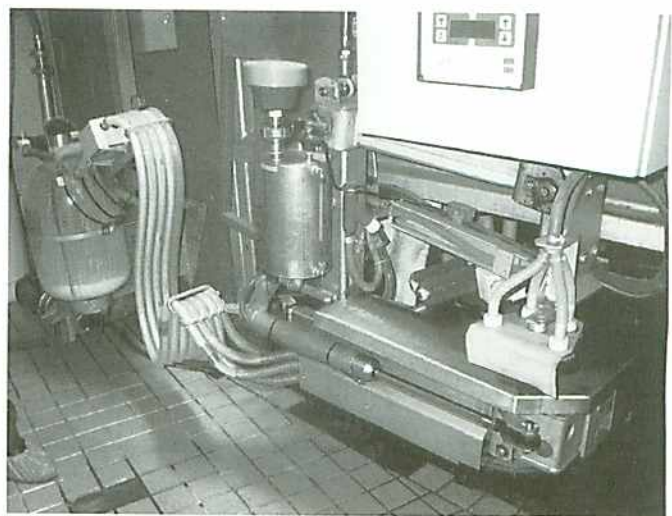


## 興味深い搾乳ロボット。

青年部当幌支部 西垣 努

今回、当幌支部では北広島市の馬場牧場へ、搾乳ロボッ  
トの視察に行ってきました。間近に見た搾乳ロボットは、  
とても興味深く印象付けられました。

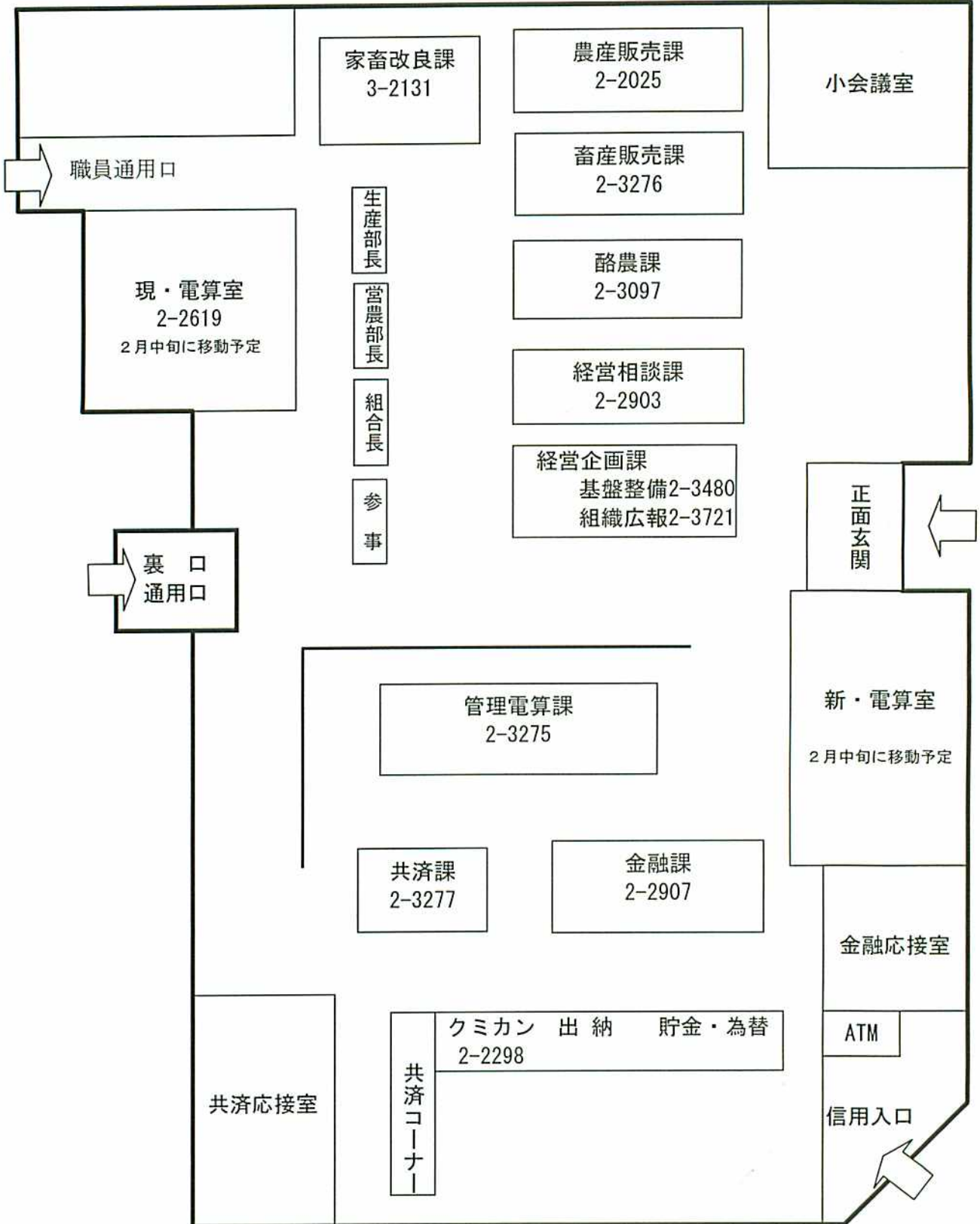
展示会場などで現物を見たことはありましたが、実際ロ  
ボットが搾乳をしているところを見て、本当にロボットが  
身近な所まで来ているように感じました。ロボットの詳し  
い説明などについては、メーカーの話しを聞き、また馬場さ  
んの話しも間近に聞いて、それぞれみんなの気づいた問題  
点などを聞いてみたりして、きつと今後もロボットが、普  
及していくんだと感じ取れました。二時間という短い時間  
の中では、みんなもつとつと聞きたいことがあったと思  
います。馬場さんにはとても親切にいただき、みん  
な大変満足したと思います。今後も当幌支部では視察  
勉強会を続けていきたいと思えます。



# 新しくなった事務所の配置

信用店舗の増築に伴い、事務所の配置が変更となりましたのでよろしくお願いします。

業務時間外・夜間の出入りはこちら



## 第八回理事会の経過

開催日時 平成十二年十二月十九日  
開催場所 中標津町農協中会議室

### 〈決議事項〉

- 一、平成十二年度九月末定例自治監査について
- 二、各資金の借入申込みについて
- 三、高温多湿による畑作物農家支援措置の要請と畑作農家支援要領について
- 四、農協農家経営改善促進資金の新設について
- 五、中山間地域等直接支払制度に係る事業資金の借入について
- 六、平成十一年産共計でん粉の精算について
- 七、農協有馬鈴しょ貯蔵地力向上施設貸付事業と貸付料の設定について
- 八、JA中標津大根価格安定基金協議会の設立及び価格安定基金の造成・運用要領の設定について
- 九、酪農課パソコンのリース契約について
- 十、畜産販売課車両のリース契約について
- 一、地区別懇談会の主な意見について
- 二、十月末組勸状況と中間協議について

### 〈協議事項〉

- 一、地区別懇談会の主な意見について
- 二、十月末組勸状況と中間協議について

## 12月の組合日誌

- 1日 地区別懇談会 第二俣落、西竹地区、中標津地区  
営農計画書作成～22日まで
- 2日 地区別懇談会 当幌地区、俵橋地区
- 4日 女性部華道教室
- 5日 第6回生産委員会
- 6日 第6回営農委員会
- 7日 第3回集落協定推進委員会  
後継者対策協議会
- 8日 第4回馬鈴しょ振興会役員会
- 11日 馬鈴しょ耕作者全体会議  
生食加工馬鈴しょ部会役員会
- 12日 第6回青年部レクリエーション委員会  
生食加工馬鈴しょ部会全体会議
- 13日 女性部パッチワーク教室
- 14日 農民写真展打合せ
- 15日 馬鈴しょ振興会女性の集い打合せ
- 19日 第8回理事会
- 20日 乳製品工場パート面接
- 21日 原種農場検討会  
青年部三役会
- 22日 農協職員忘年会

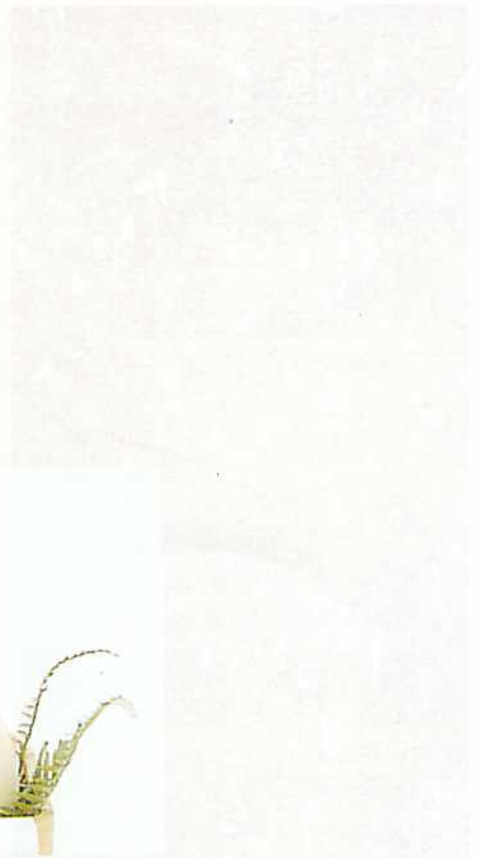


(お母さんと一緒に)

ほとくの名前は「スカーレット12×3（じゅうにかけるさん）」です。逆子だつたけれども難産ではなかつたそうです。平成12年12月12日に生まれたので、ご主人の望月幸夫さんは、遊び心でこう名付けてくれました。

北海道の中でも道東は「星の数ほど牛の数」と言われます。（根室支庁の農業振興部ポスター標語より）と言われます。365日どこかの牛舎で毎日新しい命が誕生している訳ですが、平成12年12月12日という日に生まれたスカーレット12×3君はすごい確率でこの日に生まれたのです。今年は平成13年なので、13月？という訳にはいきませんからね！





## 鏡もち

大小の丸いもちを重ね、年神様へのお供えとして神前や床の間に飾ります。昔、鏡はみな円形で、魂を象徴する神器だったことがこの名の由来。丸もちを供えると生命力を授かると伝えられ、大小重ねるのは、月(陰)と日(陽)を重ねるという意味です。

飾り方は、三方の上に奉書か半紙を敷いて裏白の葉の白が見えるように置き、上のみかんやだいたいをのせます。